

備前市事務事業評価表

事務事業名	水道料金賦課徴収事業		コード	01-01-09-02
			担当課・係	水道営業課営業係
			担当者	文徳 啓次
			電話	0869-66-9792
事業実施期間	平成18年度			
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり		
	小項目（施策）	水道及び簡易水道		

事業について	
目的 (何のために)	検針委託業務を適切実施して、料金賦課金徴収処理を適切迅速に行い、営業の効率化、社会資本の維持管理を図る。
対象 (誰・何を対象に)	水道使用者 (給水人口 40,657人 給水戸数 15,927戸)
内容	定期検針を実施して算出した使用水量に応じて、使用者に水道料金を賦課し、徴収する。

事業の結果	
実施項目	回数など (単位)
検針戸数	延べ192,217 戸
賦課件数	延べ191,111 件
徴収委託件数	延べ22,136 件
停水実施件数	延べ30 件

事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 46,991 人件費 42,480	間接補助金等 受託者負担 89,471 市債 一般財源等 0	直接事業費 43,085 人件費 42,195	間接補助金等 受託者負担 85,280 市債 一般財源等 0	直接事業費	間接補助金等 受託者負担 市債 一般財源等 0
	合計 89,471	0	合計 85,280	0	合計 0	0

結果指標 ①	結果指標名	検針戸数	検針戸数
	結果指標量	延べ192,217	延べ191,111
	単位	戸	戸
	対前年比	-	99.4%
結果指標 ②	結果指標名	徴収委託件数	徴収委託件数
	結果指標量	延べ22,136	20,722
	単位	件	件
	対前年比	-	93.6%
活動にかかるコスト	4,547,065	3,963,094	
単位当たりコスト②	205	191	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	収納率を向上させる。		
成果指標名	収納率	式又は説明	徴収額÷調定額=収納率
	17年度	18年度	
成果指標量	98.93%	98.70%	
対前年比	-	99.77%	
到達目標値	99.1%	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 地方自治法、地方公営企業法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	妥当性評価<A~E>	C

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	隔月検針及び集金制度廃止の実施についての内容の検討	
目標値	結果指標量①	191,111	結果指標量②	20,722
	成果指標量		98,95	

総合評価		評価区分 <A~E>	C
事業費の軽減を図るためには、集金制度の廃止及び隔月検針の早期実施が必要である。			

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	未収金徴収業務の民間委託の検討	H20~	収納率の向上
効率性	2ヶ月検針及び集金制度の廃止	H20~	委託手数料の軽減
妥当性	料金体系の統一	H20~	料金格差の是正